



第一線で活躍する建築家が選ぶ、優れた建築を生み出すことに貢献しうる建材・設備製品

「みらいのたね賞」11製品を決定！

住宅・建築関連専門展示会「Japan Home&Building Show 2020」で表彰・展示

日本最大級の住宅・建築関連専門展示会「Japan Home&Building Show 2020」（2020年11月11日～13日、東京ビッグサイト）を主催する一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、同展の開催を前に、優れた建築を生み出すことに貢献しうる優れた製品、未来への布石となる製品に贈られる「みらいのたね賞」11製品を決定しました。

同賞は「Japan Home&Building Show」の公式アワードで、建築分野で活躍する選考員が、毎年、同展の出展製品を対象に、テーマに基づき優れた建材・設備製品を選出しています。

4回目となる今年は、ゲスト選考員として堀部安嗣氏（建築家、京都芸術大学大学院教授）を迎え、「今に対応しながらも風雪に耐えるもの」をテーマに、「Japan Home&Building Show 2020」の出展製品約200点の中から11点を最終選出しました。

今回受賞した製品は、「Japan Home&Building Show 2020」の各受賞企業ブースに展示されます。

11月12日には、本賞の表彰式ならびに選考員による選評やトークセッションを行う「みらいのたね賞シンポジウム」を実施。審査員らとともに受賞企業のブースを巡る「みらいのたね賞ツアー」も毎日開催します。また、会期前の11月5日には、zoomウェビナーを使用し、「みらいのたね賞」選考員と、今年度の選考を終えてのオンライントークイベントを行います。

実施スケジュールなどの詳細は、「Japan Home&Building Show 2020」公式サイトにてご案内いたします（<https://www.jma.or.jp/homeshow/>）。

■「みらいのたね賞」受賞製品（順不同） ※3～8ページで製品詳細、選評を紹介

製品名	社名	ブース番号
「リボス自然健康塗料」	株式会社イクダコーポレーション	S3H-08
「スチール製シースルー階段 ObjcA（オブジェA）」	カツデンアーキテック株式会社	S1P-17
「タイトニック」	株式会社ティ・カトウ	S2B-08
「マグネットがつく壁」（磁性建材）	ニチレイマグネット株式会社	S1P-14
「タイガーハイクリンボード」<ホルムアルデヒド吸収分解せつこうボード>	吉野石膏株式会社	S1R-12
「白華レス不燃木材」	株式会社サカフ	S3M-09
「高機能木炭水性塗料」チャコペイント / 「ドイツ自然粘土塗料」クレイペイント	日の丸産業株式会社	S3D-10
「UFB DUAL™」	株式会社ライヴス	S3K-08
「ステンレス製透水化粧ふた Tosk Remake Cover」	ダイドレ株式会社	S2H-03
「WALET-TC20BF」（バリアフリー対応 20feet トイレコンテナ・福祉トイレ仕様）	ウォレットジャパン株式会社	S2M-08
前広便座「ZA FREE」	さつき株式会社	S2K-08

【展示会に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター 松本、赤木 〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22
TEL：03-3434-1988 E-mail：jhbs@jma.or.jp

【報道関係の方のお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 広報室 田部（たなべ）
TEL：03-3434-8620 E-mail：jmapr@jma.or.jp

「みらいのたね賞」概要

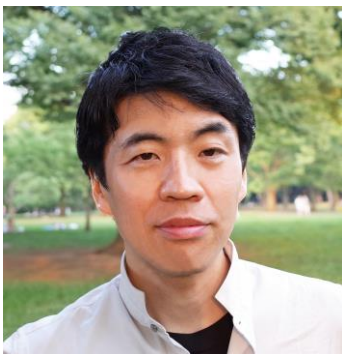
「みらいのたね賞」は、建築家が選ぶ、優れた建築を生み出すことに貢献する優れた製品、未来への布石となる製品に贈られる賞です。一般社団法人 HEAD が開催してきた「HEAD ベストセレクション賞」を継承して、一般社団法人日本能率協会が「Japan Home & Building Show」の公式アワードとして 2017 年にスタートさせ、今年で 4 回目を迎えます。



「みらいのたね賞」ロゴマーク

毎年ゲスト選考員を迎え、出展製品の中からテーマに基づき、約 10 製品を選定、表彰しています。

1. 選考員

ゲスト選考員		
	建築家 京都芸術大学大学院教授 ほりべやすし 堀部安嗣 氏	1967 年 横浜市生まれ。1990 年 筑波大学芸術専門学群卒。1991 年 益子アトリエ。1994 年 堀部安嗣建築設計事務所設立。2016 年 竹林寺納骨堂で日本建築学会賞受賞。
選考員		
	一般社団法人 HEAD 研究会 理事長 まつながやすみつ 松永安光 氏	1941 年東京生まれ。東京大学工学部建築学科卒業。ハーバード大学デザイン大学院修了。日本建築学会作品賞、同業績賞、同作品選奨、日本建築家協会新人賞、同環境建築賞、木材活用コンクール農林水産大臣賞（重賞）、都市住宅学会業績賞、日本ファシリティマネジメント協会大賞、BCS 賞。1997 年より 2007 年まで鹿児島大学工学部教授。東京芸術大学客員教授、中国同済大学客員教授などを歴任。近代建築研究所主宰。一般社団法人 HEAD 研究会理事長。
	山本想太郎設計アトリエ 代表 やまもとそうたろう 山本想太郎 氏	1966 年東京生まれ。1991 年早稲田大学大学院修了。1991～2003 年坂倉建築研究所勤務。2004 年山本想太郎設計アトリエ設立。現在、東洋大学・工学院大学・芝浦工業大学 非常勤講師。日本建築家協会デザイン部会長。HEAD 研究会理事。主な建築作品として、南洋堂ルーフラウンジ、日本橋大伝馬町プラザビル、来迎寺本堂・庫裏、妻有田中文男文庫、越後妻有清津倉庫美術館など。主な著書・訳書として、『現代住居コンセプト』（共著、INAX 出版）、『建築家を知る／建築家になる』（王国社）、『イラスト解剖図鑑 世界の遺跡と名建築』（監修・訳）など。主な受賞歴として、オーストラリア建築家協会賞、AACA 賞、東京建築賞など。

2. 選考方法

「今に対応しながらも風雪に耐えるもの」をテーマに、「Japan Home & Building Show 2020」出展製品約 200 点の中から、1 次選考で選考員が 33 点に絞り、ゲスト選考員を加えた最終選考で 11 点を決定しました。

3. 受賞製品 (※順不同)

「リボス自然健康塗料」

株式会社イケダコーポレーション (ブース番号：S3H-08)

ドイツ リボス社は、人の健康と安全を考えた自然素材の塗料メーカーとして 40 年以上にわたって研究・開発を行っている。木部用オイル塗料、ワックス、壁用水性塗料等、リボス社の理念に基づいて自然素材の風合いと色彩を生かし、メンテナンス可能な製品を取り揃える。住まいに関わる全ての人が安心して製品を選び、健康で快適に暮らしていただけるように製品に含まれる成分を 100% 表示。



【選評】

最新の建材で今後も長く使われることが予想できる質の高い製品も高く評価をしたいが、同時に風雪に耐えて、長く使われ愛されてきた材料もそれ以上に評価をしたい。

同社は約 30 年前の創業から、健康、環境、エコロジーに配慮した自然素材の輸入、提案を行ってきた。時流に流されない一貫した思想にはブレがなく、また様々な商品が開発されあつという間に廃れてゆくこのご時世の中でわれわれユーザーに安心感と信頼感を与えている。

またリボス自然健康塗料は、単に“モノ”を売るのではなく森や木とつながった大きな循環の中の一部の製品であるという思考に共感する。

(堀部安嗣)

「スチール製シースルー階段 ObjeA (オブジェA)」

カツデンアーキテック株式会社 (ブース番号：S1P-17)

ささら桁・手すり・段板という階段を構成する 3 つのパーツと豊富なカラーを自由に組み合わせられるシースルー階段。家族とのコミュニケーションを多く取れるように、リビングに階段を置くことを提案し続け、細部の美しさまでこだわり続けたデザイン。またノックダウン工法の階段のため、現場での溶接・塗装が不要であり、新築のみならずリフォームでも仕上げが美しいまま階段を納入することが可能。



【選評】

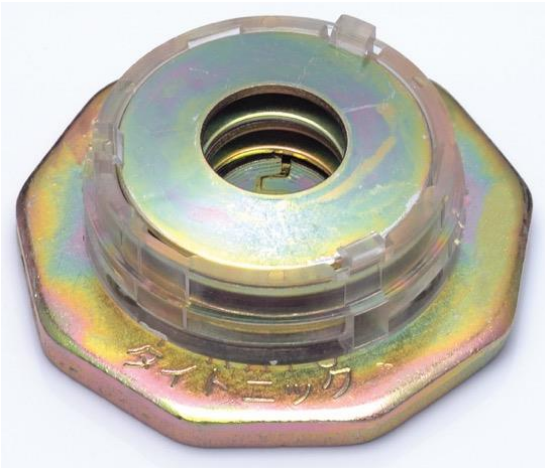
リビングに「シースルー階段」を設置すると快適な暮らしと家族のコミュニケーションが見えてくる。ということを実家の新築時に確信した創業者が、①室内を出来るだけ広く感じさせるシースルー階段、②現場に搬入がしやすい、ノックダウン工法にこだわる、③家具などのインテリアと同じように美しいデザイン、という 3 原則を守って現在では国内外に工場を建て、発展を続けていることは驚嘆に値する。製品は今では階段以外にアスレティックの分野まで広がり海外のデザイナーとタイアップして新しい分野にチャレンジを始めているようだ。ともあれチャレンジ精神に富み、美的センスにこだわったこのようなメーカーが発展することはわが国の建材メーカーにとっても刺激となって世界に雄飛するメーカーが続出することを願いつつ、「みらいのたね賞」を授賞したい。

(松永安光)

「タイトニック」

株式会社ティ・カトウ（ブース番号：S2B-08）

木痩せに追従する特許技術を用いた木造住宅用耐震座金。木造住宅では経年変化による木痩せにより接合部等に緩みが生じ、徐々に耐震力は低下していく。そうした耐震力の低下を防止するのが「タイトニック」。内蔵スプリングでボルトを引き寄せ、マジックリングで締め付けて緩みを抑える。軽い締め付け力で大きな力に耐えることができる次世代の接合金物。中大規模木造建築でも採用が広がっている。



【選評】

日本の伝統的な木造構法は巧みな仕口・継ぎ手で経年変化や変位にも対応するものであった。

その接合法も現代では金物に置き換わり、強固な剛性を得ると同時に、金属と木材の材料特性の違いによる不具合への対応が課題とされてきた。木痩せや振動などによるボルトの緩みもそのひとつであり、スプリングナット、ワッシャーなどでの対応はあったが、この製品はそれを格段に高性能にするものである。木痩せに追従するスプリングとボルトの回転を抑えるリングで、締め込み力が保持される。基本的な構造性能が確保され続けることは、時を経ながら体験される建築という表現の存在基盤である。そこに貢献する一部品として高く評価した。（山本想太郎）

「マグネットがつく壁」(磁性建材)

ニチレイマグネット株式会社（ブース番号：S1P-14）

マグネットがつく壁、インテリアにマッチする木目などの柄バリエーションをもつ「アイパネル」。磁石が吸着するので、ビスや画鋲、テープが不要。お子様の部屋にも安心安全。壁を傷つけずメモやプリント類をさっと掲示できる。お子様の描いた絵や写真も磁石だから簡単。家族のコミュニケーションが広がる。不燃認定済みの「マグピタボード」もラインナップ。リビングだけでなくキッチン、サニタリーで大活躍。



【選評】

マグネットがつく壁面、というシンプルな仕掛けがもたらす可能性を、様々な形で提案する製品群。

ベースとなる壁材（磁石がつく石膏ボードや鋼板入り積層パネル）と、そこに設置するマグネット一体の壁装材や棚、水回り備品、さらにはテレビまでがラインアップされている。この「半固定」のもっている「生活者への近しさ」は、これからの建材のひとつの方向性を示すものだろう。

さらに同社が「マグネット」という技術を携えてさまざまな建材メーカーとコラボレーションするという方法も、企業を超えた情報や技術の共有によって新しい概念の建材が生み出される典型的なモデルのひとつとして評価したい。（山本想太郎）

「タイガーハイクリンボード」<ホルムアルデヒド吸収分解せっこうボード>

吉野石膏株式会社（ブース番号：S1R-12）

「タイガーハイクリンボード」は、部屋の空気をきれいに
して健康で快適な住空間を実現する、せっこうボード。新
築・リフォーム直後の住宅や家具などから発生する有害
物質（ホルムアルデヒド）を短時間で吸収分解する性能
（ハイクリン性能）があり、シックハウス対策に最適。ハ
イクリン性能に併せて、室内の湿度を調節する機能も付
加した「タイガーハイクリンスカットボード」もラインナ
ップ。



タイガーハイクリンボードの性能イメージ

タイガーハイクリンボードの施工現場

【選評】

建築内の化学物質対策は、化学物質
過敏症が世界的に急拡大している現
状を鑑みても、確実にこれからの建
築・建材の大きな課題となってい
くと考えられる。

その解決策は、あらゆる建材や日用
品、そして空調・換気なども含めた
総合的な視点で講じられなくてはな
らないだろう。その意味で、あら
ゆるタイプの建築のあらゆる部屋に
用いられる基本建材である石膏ボ
ードに、ホルムアルデヒド吸収分解
性能を付加したこの製品には大きな
可能性が感じられる。

現在、アセトアルデヒドまで対応す
る上位製品もあるが、人体に悪影響
を与える化学物質はまだ多い。
ケミカルフリー建築へと向かう第一
歩として、これからの一層の進化に
も期待したい。（山本想太郎）

「白華レス不燃木材」

株式会社サカワ（ブース番号：S3M-09）

一般的な不燃木材に発生する液だれによる“白華現象”を
ほぼ解消。

白華の原因であるホウ酸を使わず、特殊リン酸系薬剤を
使用することで過剰な吸湿性をコントロール。また、通常
使用される酸性の薬剤ではなく中性域の薬剤を採用して
いるため、接合金物の腐食（サビ）を抑えることにも成功。
シックハウスの原因となる VOC（揮発性有機化合物）は
一切含まれず、安全性も抜群。



【選評】

近年、内装等に無垢木材の使用の需
要が増えてきたのは周知の通りで
ある。しかし内装制限という高い壁が
立ちはだかつていて木質系を求める
なら結局は木目の化粧シートになる
ことがほとんどであろう。

当然ながら私たちが“木”を求めるの
は視覚的なことだけではない。五感
の全てで木を求めているのだから化
粧シートと無垢の木は全くの別物で
ある。

またコストが許せば不燃木という選
択があるけれども、処理後の色合い
や風合いに残念感があるのと“白華”
現象が問題となって使用にはなかな
か至らないことが現実だった。

そんな中で生まれたこの“白華レス”
は天然無垢の木の使用に大きな可能
性を開く製品とっていいだろう。

（堀部安嗣）

「高機能木炭水性塗料」チャコペイント / 「ドイツ自然粘土塗料」クレイペイント

日の丸産業株式会社（ブース番号：S3D-10）

赤松炭・高炭素セラミック・銀系無機抗菌剤などを配合している健康に配慮した水性木炭塗料。建物の壁や天井、床下の基礎に塗ることで、空気環境の改善（有害物質除去・調湿・抗菌・空気中の浮遊するホコリの軽減）や抗酸化効果がある。また、黒色以外の仕上げを要望される際は、天然成分98%以上でできた自然粘土塗料「クレイペイント」にて、「チャコペイント」と同様に、調湿・有害物質除去等を図ることができる。



【選評】

木炭の物性を残したまま水性塗料とした製品。炭の素材感の内外装塗料というだけでなく、調湿、有害物質除去、抗菌など、炭のさまざまな性能も発揮する。

また注目すべきは「電磁波減衰効果」を謳っていることである。5G 時代も近づき、日に日に私たちが晒される電磁波の線量は増加しており、今後、その人体への有害性の検証とともに、建築も対応を迫られていく可能性がある。

同社は同様に炭の通電性をいかして電磁波をシャットアウトする「正電フリーシート」も製品化しており、建材界ではまだあまり意識されていないこの分野にスポットライトを当てていることは興味深い。

これからの建築・建材の中心テーマのひとつとなる「健康性」の観点で、さまざまな可能性をもつ製品である。（山本想太郎）

「UFB DUAL™」

株式会社ライヴス（ブース番号：S3K-08）

UFB DUAL™ は、特許技術により日本で唯一の水道機器認証を所得したウルトラファインバブル生成ノズル。水道の元栓に設置することで家庭内の浴槽やシャワー、キッチン、トイレ、洗濯機など水道水を利用するすべての設備や排水管などでウルトラファインバブル水を利用することが可能になる画期的製品。住宅はもちろん、ビルや医療施設、商業施設など幅広い分野で利用可能。



【選評】

人間の暮らしや住まいの不可欠なものは、太陽、緑、空気、水であろう。言い換えるならばそれらをうまく生活や体に取り込むことのできる住まいが質の高い住宅なのではないか。近年、人間も自然の一部であるという認識が高まって住まいにおけるエコロジーの観点が注目されているが意外と“水”に対する意識は、太陽や空気に比べると低かったように思う。

そんな中、私たちの身体に不可欠な“水の質”を向上させ、かつメンテナンスや電力を必要としない本製品の登場は人々の認識を改めてゆく大きなきっかけとなるの可能性がある。この製品を設置することで、水の質が生活の豊かさにつながる実感を味わってみたい。（堀部安嗣）

「ステンレス製透水化粧ふた Tosk Remake Cover」

ダイドレ株式会社（ブース番号：S2H-03）

Tosk Remake Cover は特殊樹脂で固めた透水性を持つ天然石を SUS フレームに充填し、開口部が無いグレーチングに代わる新時代の化粧ふた。その構造から水だけ通しゴミが側溝に入らない、靴の踵や車いすの車輪が引っ掛からず安全に通行できるバリアフリーな製品。



【選評】

従来の排水化粧蓋は化粧部分とグレーチング部分に別れており、排水機能はグレーチング部分にしかなかった。つまりグレーチング部分がなければ排水はできなかったところを、化粧部分に排水機能を持たせてしまって、グレーチング部分をなくした製品である。グレーチング部分がなくなることによってヒールのかかとが落ちたりゴミが落ちたりすることがなくなり、完全なバリアフリーの路面を仕上げることができる。化粧蓋の砂利にも様々な種類と色味が用意されており、デザイン意匠にマッチする蓋を選択できることも嬉しい。この製品が使用されている場面を見ると、この“排水溝然”としない排水溝がどれだけ景観を美しくしているかを実感できる。（堀部安嗣）

「WALET-TC20BF」（バリアフリー対応 20feet トイレコンテナ・福祉トレーラ仕様）

ウォレットジャパン株式会社（ブース番号：S2M-08）

「いつ・どこでも・誰一人トイレを我慢させない」をテーマにイベント・災害時などでユーザーから要望を多数取り入れ、コンテナ型トイレでは世界初となる車椅子用昇降機、オストメイト対応流し台を配置し、誰もが普段通りの環境で安心してご利用できる移動式のトレーラ型トイレコンテナカーを作製（男性：大便器 1・小便器 2、女性：大便器 3、多目的：大便器 1、オストメイト流し台 1、各個室に鏡付手洗い器も完備）。



【選評】

ほとんど毎年のように激甚災害が絶えないわが国では、被災者のための避難所が必要不可欠である。しかし仮設の避難所に付随するトイレについてはあまりその清潔度に気配りがなされているとは言えない。本製品は使いやすく快適なバリアフリー対応高機能水洗トイレユニットでありコンテナユニットのメリットを最大限生かして、画期的な快適空間を提供してくれる。運搬用の専用台車も用意されており、どこにでも運んでいくことが出来る。自治体として常備しておくことが望ましく思われる。外観のデザインにも十分な気配りがなされており、公共の福祉に多大な貢献をする製品として「みらいのたね賞」の対象として表彰する次第である。（松永安光）

前広便座「ZA FREE」

さつき株式会社（ブース番号：S2K-08）

従来の温水洗浄便座に比べ便座前方の開口部を広くし、さらに後方の座部を広くすることで、これまでにない使い方が可能に。医療介護現場では、陰部洗浄・排尿・自己導尿がしやすく、また公共施設では、オストメイトの方が多目的トイレを使用することなくパウチ処理を楽に行える。体格の大きな外国人の方でも座面が広く使いやすいことから、全ての人にやさしいユニバーサル便座。



【選評】

高齢化が進むわが国では従来の便器は、その多機能を誇る製品ばかりが注目され、次々に新製品が発売されているが、そのいずれもが健常者用の寸法で設計しているために、体が不自由な人々やその介護にあたる人々には使いにくく、便器周りが汚れやすい。

本製品はこのようなハンディキャップのある利用者のニーズに応えるよう従来の便座よりゆとりある幅と奥行きを確保し、オストメイト利用者、採尿を含めて誰にとっても使いやすいトイレを提供している。

介護・医療・公共施設の現場での利用に多大な貢献をする製品を開拓した関係者の功績をたたえて「みらいのたね賞」を授与する。

（松永安光）

4. 授賞式、「みらいのたね賞シンポジウム」開催概要

- ・開催日：2020年11月12日（木） 14:00～15:30
- ・会場：東京ビッグサイト（有明・東京国際展示場） 展示会場内 講演会 A（南3ホール）
- ・登壇者：堀部安嗣氏、松永安光氏、山本想太郎氏
- ・申込方法：<https://www.jma.or.jp/homeshow/mirai/> からの事前申込制（無料）

5. 「みらいのたね賞ツアー」開催概要

- ・開催日：2020年11月11日（水）・12日（木） 15:40～16:40
11月13日（金） 10:15～11:15
- ・同行者：堀部安嗣氏（12日のみ）、松永安光氏（11日、12日のみ）、山本想太郎氏（11～13日）
- ・申込方法：<https://www.jma.or.jp/homeshow/mirai/> からの事前申込制（無料）

6. 「みらいのたね賞～未来に繋がる建材とは～ 会期前トーク！」開催概要

初開催！みらいのたね賞の会期前トークをオンラインにて開催いたします。

みらいのたね賞選考員 松永安光氏、山本想太郎氏と一緒に、今年度の選考を終えてのトークを行います。

- ・開催日：2020年11月5日（木） 18:30～19:15
- ・場所：オンライン（zoom ウェビナーを使用します）
- ・申込方法：https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_XPcR25yLSh-dTfwD9meHRw からの事前申込制（無料）

「Japan Home&Building Show 2020」開催概要

総 称	Japan Home & Building Show 2020
展示会名称	●第 42 回 ジャパンホームショー 〈特設展示〉 ● 高機能木材特集 ● サウンド特集 ● 細菌・ウイルス対策特集 ●第 15 回 ふるさと建材・家具見本市 ●第 6 回 店舗・商業空間デザイン展 ●第 5 回 トイレ・バス・キッチン空間・設備フェア ●第 4 回 団地・マンションリノベーション総合展 ●第 4 回 景観・ランドスケープ総合展 ●第 3 回 イノベーションオフィス ●第 6 回 トイレ産業展
主 催	一般社団法人日本能率協会
共 催	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会／一般社団法人リビングアメニティ協会 一般社団法人住宅生産団体連合会／公益社団法人日本建築家協会
後 援	外務省／経済産業省／国土交通省／林野庁／独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ） ／独立行政法人住宅金融支援機構（順不同）
協 賛	関連 129 団体
会 場	東京ビッグサイト（有明・東京国際展示場） 南展示棟 1～3 ホール
会 期	2020 年 11 月 11 日（水）～13 日（金） 10:00～17:00
公式サイト	https://www.jma.or.jp/homeshow/
来場方法	https://eventregist.com/e/11all/ticket から事前登録をお願いします
展示規模	198 社／430 ブース（2020 年 10 月 21 日現在）
来場予定者数	約 40,000 人（同時開催展含む）
同時開催	第 5 回アジア・ファニッシングフェア

以上